

総務文教委員会 平成28年第4回定例会 中間報告（案）

総務文教委員会より、平成28年第3回定例会において許可を得ました、調査第4号「防災計画について」の調査経過をご報告申し上げます。

本年は全国各地で地震や台風による災害が多発し、本市を含む富良野沿線においては、河川の氾濫、土砂崩落、圃場の表土流出など、大きな爪痕を残しました。被災された方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。

本市では、災害対策に関する種々の計画を取りまとめた「富良野市地域防災計画」を策定しております。本計画は、災害予防、災害時の体制や対応、地震・火山・事故災害への対策、復旧計画について定め、非常事態への備えとしています。また、他の自治体、防災関係機関、民間事業者などと防災協定を結び、災害発生時の迅速かつ的確な対応ができるよう協力体制を強化しております。さらに、市内連合会・町内会に自主防災組織の設立をよびかけ、市民の防災意識の向上を図っているところでございます。

そこで本委員会では防災計画について、担当部局に資料の提出と説明、さらに一般の台風襲来に伴う防災体制の総括について報告を求め、調査を進めてまいりました。その中で本市における課題として、災害発生時における民間事業者や他の自治体などの外部組織との連携について、自主防災組織の推進に向けた取り組みについて、避難所運営、情報発信の考え方について、備蓄等についての大きく4点が挙げられました。

今後は以上の点について議論を深め、本市の実態を反映したものを検討したいことから、継続調査を求めるものであります。

以上申し上げまして、総務文教委員会からの報告といたします。